



2022年3月11日

各位

会社名 デリカフーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大崎 善保
(コード番号 3392 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 仲山 紺之
(TEL. 03-3858-1037)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月11日開催の取締役会において、2021年5月11日に公表しました2022年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	35,000 ～37,000	60 ～460	100 ～500	80 ～450	5円42銭 ～30円47銭
今回修正予想 (B)	38,500	△450	△300	△525	△35円56銭
増減額 (B-A)	1,500 ～3,500	△510 ～△910	△400 ～△800	△605 ～△975	-
増減率 (%)	4.1% ～10.0%	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	31,725	△1,467	△1,031	△953	△64円59銭

2. 修正の理由

売上高につきましては、期初から注力した新規・深耕の営業活動等により計画を上回る見込みですが、利益面では、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等が通期で約8ヶ月近くに渡り発令されたことによる期間中の赤字(*1)に加え、主に8～9月に発生した青果類の市況悪化等による仕入率の上昇影響(*2)を要因に前期比では大きく改善したものの黒字化には至らず、営業利益、経常利益(*3)、親会社株主に帰属する当期純利益ならびに1株当たり当期純利益は赤字となる見込みです。

なお、足下では調達パイプの強化等仕入体制の改善を図っており、来期以降の業績上のマイナス影響は低減しております。

また、現時点において、配当予想についての修正はございません。

*1：特に今期上期(4月～9月)では△709百万円(当初計画対比△1,181百万円)の営業損失。

*2：当初通期計画対比で1.5%(金額約590百万円)の営業利益悪化。

*3：助成金収入、受取賃貸料等で営業外収益を計上し営業利益を上回る予定。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以上